

(参考2) 本件申請の概要

1. 有毒ガス濃度評価

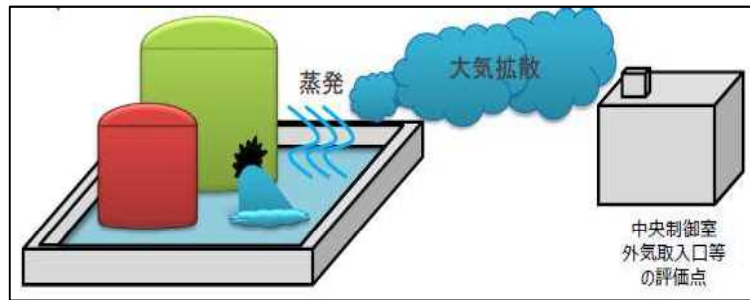
原子炉制御室の運転員、緊急時対策所において重大事故等に対処するために必要な要員、重大事故等対処上特に重要な操作を行う要員、緊急時制御室の運転員の吸気中の有毒ガス濃度を評価するため、「有毒ガス防護に係る影響評価ガイド」を参照し、対象発生源の特定に係る評価を実施し、固定源及び可動源を特定。



出典：「有毒ガス防護に係る影響評価ガイド」から抜粋

2. 固定源からの有毒ガスに対する防護措置

固定源からの有毒ガスに対しては、防液堤等の防護措置を講じることで、運転・対処要員の吸気中の有毒ガス濃度が判断基準値を下回る設計とする。



出典：第693回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合資料3-1-1 (<http://www.nsr.go.jp/data/000264452.pdf>) から抜粋

3. 可動源からの有毒ガスに対する防護措置

可動源からの有毒ガスに対しては、可動源に立会人を随伴させ、有毒ガスの発生を発見した場合には、原子炉制御室運転員への連絡、換気設備の隔離、防護具の着用を行う手順等を整備する。



出典：第752回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合資料1-1-1 (<http://www2.nsr.go.jp/data/000278937.pdf>) から抜粋

4. 予期せぬ有毒ガスに対する防護措置

予期せぬ有毒ガスに対しては、防護具の着用を行う手順等を整備する。